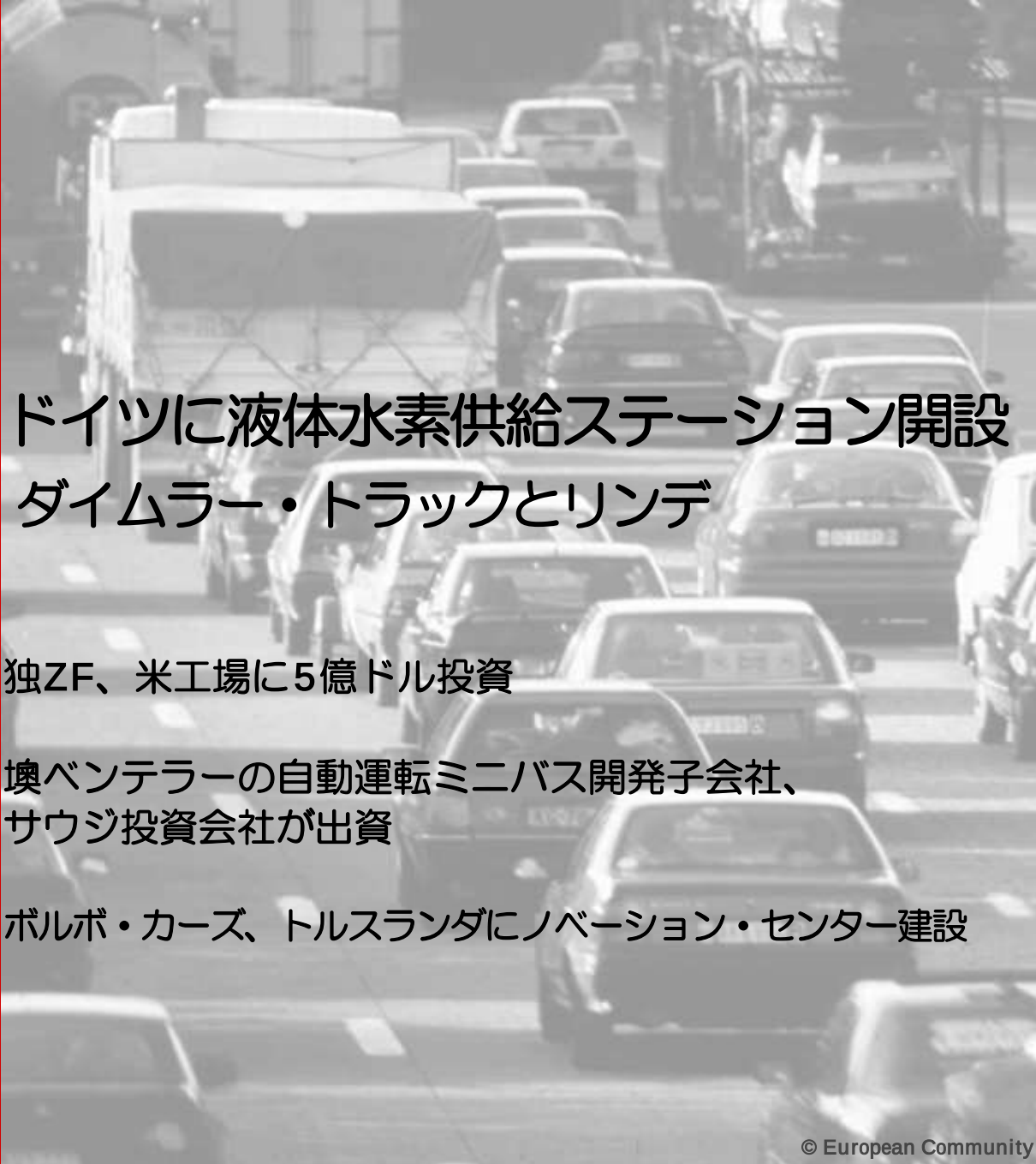


欧州自動車産業ニュース

No. 918

2024年2月9日号



ドイツに液体水素供給ステーション開設 ダイムラー・トラックとリンデ

独ZF、米工場に5億ドル投資

墺ベンテラーの自動運転ミニバス開発子会社、
サウジ投資会社が出資

ボルボ・カーズ、トルスランダにノベーション・センター建設

© European Community

※ PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

タイヤ業界でカルテルか、欧州委が立ち入り調査	4
欧州商用車販売、バンは2023年通期に14.6%増加	4
ドイツ乗用車新車登録、1月は19.1%増加	10
ドイツ国内生産、1月は4%減少	13

企業情報

自動車メーカー

ダイムラー・トラックとリンデ、液体水素供給ステーション開設	14
独オペルの23年販売、15%増の67万台	15
ボルボ・カーの通期決算は増収増益、ポールスターへの資金援助は打ち切り	15
仏ルノー「マスター」のEVモデル、クラス最高の航続距離とエネ効率を実現	16
ボルボ・カーの1月販売10%増、17カ月連続で増加	16

部品メーカー

独ZF、米工場に5億ドル投資	17
独コンチネンタル、スリランカの特種タイヤ生産を強化	17

クローズアップ

TheBiPo	18
---------------	----

欧州自動車短信

Argus Cyber Security、ダイムラー・バスズ・ソリューションズ	19
---	----

一般・その他

緊急時の重要物資確保策、加盟国と欧州議会が合意	20
EUがウクライナへの金融支援で合意、ハンガリーが反対撤回	21
EUがウクライナ産農産物の輸入制限へ、域内農家の不満に対応	21

テクノロジー・トレンド

塙ベンテラーの自動運転ミニバス開発子会社、サウジ投資会社が出資	22
ボルボ・カーズ、トルスラングにノーベション・センター建設	23

目で見える欧州自動車産業ニュース

EU 新車登録: 商用車2023年 燃料別	24～25
-----------------------------	-------

企業名索引.....23

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950

Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

タイヤ業界でカルテルか、欧州委が立ち入り調査

欧州委員会は1月30日、欧州のタイヤ市場で複数のメーカーがカルテルなどを禁じるEU競争法に違反している疑いで、関係各社に立ち入り調査を実施したと発表した。対象企業は非公表だが、伊ピレリ、独コンチネンタル、仏ミシュラン、フィンランドのノキアタイヤズが調査を受けたことを確認している。

欧州委によると、関係各社には乗用車、バン、トラック、バス向け交換用タイヤの欧州経済領域（EEA＝EUにノルウェー、アイスランド、リヒテンシュタインを加えた30カ国）での販売で価格を調整した疑いが浮上。複数の国で立ち入り調査を行った。

今後の調査でカルテルがあったと認定されれば、各社は世界全体の売上高の最大10%に相当する制裁金の支払いを命じられる可能性がある。

<AI21694>

欧州商用車販売、バンは2023年通期に14.6%増加

欧州自動車工業会（ACEA）は1月26日、欧州連合（EU）における2023年通期の商用車新車登録台数を発表した。これによると、バン（小型商用車）、トラック（中・大型合計）、バスのいずれのカテゴリーも前年比で2ケタの増加率となり、好調だった。

バン（小型商用車）は、前年比14.6%増の146万7,001台だった。主要国では、イタリア（22.7%増）、スペイン（22.0%増）が大幅に伸びたほか、ドイツ（12.1%増）、フランス（8.9%増）も前年同月を上回った。

トラック（中・大型合計）も、前年比16.3%増の34万6,986台と好調だった。主要国は、ドイツ（24.4%増）、スペイン（22.3%増）、イタリア（11.4%増）、フランス（11.3%増）のいずれも2ケタの増加率だった。

バスも前年比19.4%増の3万2,593台に伸びた。主要国では、スペイン（56.2%増）の伸び率が最も大きかった。

（5～9頁の表参照、
燃料別のグラフは【目で見える欧州自動車産業ニュース】24～25頁に掲載）

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



欧州商用車新車登録、小型商用車 (3.5トン以下)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2023年	2022年	
オーストリア	30,573	24,651	24.0
ベルギー	67,549	56,102	20.4
ブルガリア	5,192	4,885	6.3
クロアチア	7,463	5,630	32.6
キプロス	1,766	1,957	-9.8
チェコ	22,769	16,899	34.7
デンマーク	25,681	27,144	-5.4
エストニア	3,904	3,710	5.2
フィンランド	11,021	11,191	-1.5
フランス	378,040	347,069	8.9
ドイツ	259,376	231,290	12.1
ギリシャ	10,144	9,664	5.0
ハンガリー	20,749	17,652	17.5
アイルランド	28,943	23,510	23.1
イタリア	195,618	159,426	22.7
ラトビア	2,699	2,406	12.2
リトアニア	3,104	3,321	-6.5
ルクセンブルク	5,410	4,004	35.1
マルタ	799	741	7.8
オランダ	69,297	59,173	17.1
ポーランド	64,522	62,236	3.7
ポルトガル	28,523	23,637	20.7
ルーマニア	17,212	14,826	16.1
スロバキア	9,107	7,679	18.6
スロベニア	7,685	7,132	7.8
スペイン	146,142	119,784	22.0
スウェーデン	43,713	34,516	26.6
欧州合計	1,467,001	1,280,235	14.6
アイスランド	1,971	1,607	22.7
ノルウェー	29,574	29,481	0.3
スイス	30,570	25,170	21.5
EFTA	62,115	56,258	10.4
英国	343,361	283,836	21.0
EU+EFTA+UK	1,872,477	1,620,329	15.6

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中型トラック (3.5トン超～16トン未満)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2023年	2022年	
オーストリア	—	—	
ベルギー	1,240	979	26.7
ブルガリア	—	—	
クロアチア	297	206	44.2
キプロス	83	62	33.9
チェコ	—	—	
デンマーク	529	477	10.9
エストニア	33	63	-47.6
フィンランド	1,056	920	14.8
フランス	6,000	4,873	23.1
ドイツ	25,838	21,129	22.3
ギリシャ	301	217	38.7
ハンガリー	518	370	40.0
アイルランド	378	327	15.6
イタリア	4,608	4,260	8.2
ラトビア	70	47	48.9
リトアニア	94	101	-6.9
ルクセンブルク	115	103	11.7
マルタ	—	—	
オランダ	2,041	1,168	74.7
ポーランド	3,694	2,711	36.3
ポルトガル	755	620	21.8
ルーマニア	—	—	
スロバキア	411	265	55.1
スロベニア	144	113	27.4
スペイン	4,435	3,099	43.1
スウェーデン	562	532	5.6
欧州合計	53,202	42,642	24.8
アイスランド	126	104	21.2
ノルウェー	1,659	1,502	10.5
スイス	871	684	27.3
EFTA	2,656	2,290	16.0
英国	11,738	9,957	17.9
EU+EFTA+UK	67,596	54,889	23.2

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、大型トラック (16トン以上)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2023年	2022年	
オーストリア	—	—	
ベルギー	8,818	7,587	16.2
ブルガリア	—	—	
クロアチア	1,751	1,302	34.5
キプロス	76	32	137.5
チェコ	—	—	
デンマーク	4,444	4,395	1.1
エストニア	839	877	-4.3
フィンランド	2,886	2,419	19.3
フランス	43,613	39,694	9.9
ドイツ	68,982	55,089	25.2
ギリシャ	425	459	-7.4
ハンガリー	5,841	5,337	9.4
アイルランド	2,276	1,876	21.3
イタリア	24,020	21,428	12.1
ラトビア	1,798	1,625	10.6
リトアニア	10,568	9,840	7.4
ルクセンブルク	1,717	1,322	29.9
マルタ	—	—	
オランダ	14,098	12,123	16.3
ポーランド	31,778	32,165	-1.2
ポルトガル	6,167	4,087	50.9
ルーマニア	—	—	
スロバキア	3,528	2,895	21.9
スロベニア	2,382	2,193	8.6
スペイン	24,250	20,363	19.1
スウェーデン	6,622	5,492	20.6
欧州合計	266,879	232,600	14.7
アイスランド	297	183	62.3
ノルウェー	4,831	4,101	17.8
スイス	3,611	3,032	19.1
EFTA	8,739	7,316	19.5
英国	41,533	35,902	15.7
EU+EFTA+UK	275,618	239,916	14.9

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中・大型トラック合計

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2023年	2022年	
オーストリア	8,008	7,079	13.1
ベルギー	10,058	8,566	17.4
ブルガリア	—	—	
クロアチア	2,048	1,508	35.8
キプロス	159	94	69.1
チェコ	10,408	8,971	16.0
デンマーク	4,973	4,872	2.1
エストニア	872	940	-7.2
フィンランド	3,942	3,339	18.1
フランス	49,613	44,567	11.3
ドイツ	94,820	76,218	24.4
ギリシャ	726	676	7.4
ハンガリー	6,359	5,707	11.4
アイルランド	2,654	2,203	20.5
イタリア	28,628	25,688	11.4
ラトビア	1,868	1,672	11.7
リトアニア	10,662	9,941	7.3
ルクセンブルク	1,832	1,425	28.6
マルタ	—	—	
オランダ	16,139	13,291	21.4
ポーランド	35,472	34,876	1.7
ポルトガル	6,922	4,707	47.1
ルーマニア	8,489	7,115	19.3
スロバキア	3,939	3,160	24.7
スロベニア	2,526	2,306	9.5
スペイン	28,685	23,462	22.3
スウェーデン	7,184	6,024	19.3
欧州合計	346,986	298,407	16.3
アイスランド	423	287	47.4
ノルウェー	6,490	5,603	15.8
スイス	4,482	3,716	20.6
EFTA	11,395	9,606	18.6
英国	53,271	45,859	16.2
EU+EFTA+UK	411,652	353,872	16.3

出所：欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、バス (3.5トン超)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2023年	2022年	
オーストリア	1,165	928	25.5
ベルギー	732	590	24.1
ブルガリア	—	—	
クロアチア	108	236	-54.2
キプロス	292	58	403.4
チェコ	1,080	1,215	-11.1
デンマーク	499	667	-25.2
エストニア	148	303	-51.2
フィンランド	249	417	-40.3
フランス	6,125	5,883	4.1
ドイツ	5,493	4,883	12.5
ギリシャ	252	255	-1.2
ハンガリー	820	688	19.2
アイルランド	340	287	18.5
イタリア	5,119	3,277	56.2
ラトビア	133	262	-49.2
リトアニア	270	108	150.0
ルクセンブルク	247	301	-17.9
マルタ	—	—	
オランダ	392	237	65.4
ポーランド	1,824	822	121.9
ポルトガル	984	1,484	-33.7
ルーマニア	600	291	106.2
スロバキア	793	394	101.3
スロベニア	131	125	4.8
スペイン	3,679	2,356	56.2
スウェーデン	1,118	1,241	-9.9
欧州合計	32,593	27,308	19.4
アイスランド	138	35	294.3
ノルウェー	1,024	591	73.3
スイス	676	471	43.5
EFTA	1,838	1,097	67.5
英国	5,513	4,253	29.6
EU+EFTA+UK	39,944	32,658	22.3

出所: 欧州自動車工業会

<AI21695>

ドイツ乗用車新車登録、1月は19.1%増加

ドイツ連邦陸運局(KBA)は5日、同国の2024年1月の乗用車新車登録が21万3,553台となり、前年同月に比べ19.1%増加したと発表した。大幅な増加は、ドイツ政府が2023年1月から電動車向けの補助金を縮小し、純粋な電気自動車(BEV)と燃料電池車(FCV)で支給額を引き下げ、PHEVについては補助金を廃止したため、2022年12月に前倒し需要があり、前年1月は新車登録が大幅に減少していた反動がある。なお、2019年1月比では、依然として約20%下回っている。

2024年1月の顧客別の登録台数は、法人が前年同月比23.3%増の15万904台で、市場シェアは70.7%、個人は前年同月比10.1%増の6万2,401台で、市場シェアは29.2%だった。

ブランド別では、ドイツ勢は、オペル(72.4%増)、スマート(62.5%増)、BMW(44.2%増)、MINI(35.4%増)、ポルシェ(24.2%増)が大幅に伸びている。国外ブランドでは、セアト(80.2%増)、シュコダ(21.3%増)が好調だった。

日本勢は、三菱自(251.5%増)、レクサス(180.7%増)、スバル(66.9%増)、日産(25.7%増)の伸び率が大きく、トヨタ(2.5%増)も前年同月を上回った。スズキ(36.3%減)、マツダ(13.5%減)、ホンダ(3.8%減)は前年同月に比べ減少している。

■ BEV、1月は23.9%増加

2024年1月の燃料別の登録台数は、純粋な電気自動車(BEV)が前年同月比23.9%増の2万2,474台(市場シェア：10.5%)だった。

ハイブリッド車は、前年同月比31.0%増の6万6,496台(市場シェア：31.1%)で、うち、プラグインハイブリッド車(PHEV)は、前年同月比62.6%増の1万4,394台(市場シェア：6.7%)だった。

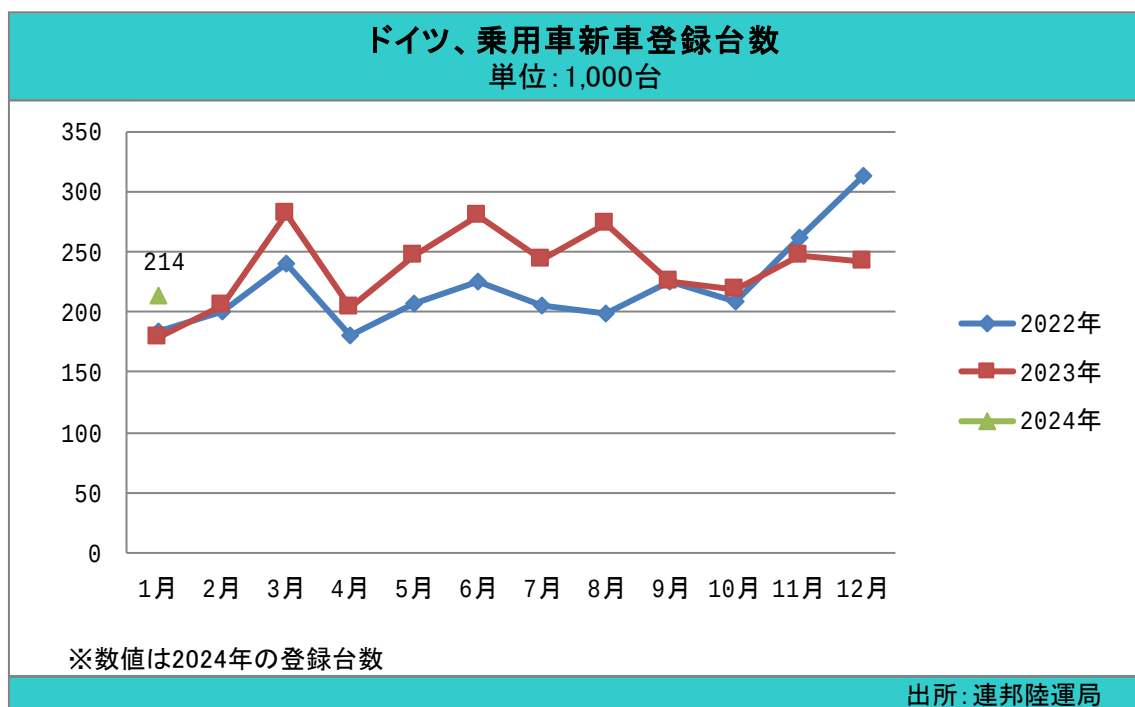
ガソリン車は、前年同月比16.9%増の8万1,724台(市場シェア：38.3%)、ディーゼル車は、前年同月比4.3%増の4万936台(市場シェア：19.2%)だった。

独自自動車工業会(VDA)は、2024年通期のBEVの登録台数が前年比14%減の45万1,000台、PHEVは前年比5%増の18万5,000台になると予想している。

ドイツの乗用車新車登録統計 2024年：燃料別			
	1月	市場シェア	前年同月比 伸び率(%)
ガソリン	81,724	38.3	16.9
ディーゼル	40,936	19.2	4.3
液化石油ガス(LPG)	1,899	0.9	77.8
天然ガス(CNG)	14	0.0	-
ハイブリッド	66,496	31.1	31.0
うち、プラグインハイブリッド	14,394	6.7	62.6
電気(BEV)	22,474	10.5	23.9
水素	-	-	-
出所：連邦陸運局			

(次頁に続く)

ドイツ、新車登録：2024年		
	1月	
	台数	前年同月比 伸び率(%)
オートバイ	7,086	-16.0
乗用車	213,553	19.1
バス	592	28.7
トラック	23,596	13.4
牽引車	7,075	0.4
その他	1,434	-18.5
合計	253,336	16.3
被牽引車	16,771	-9.3
出所：連邦陸運局		



ドイツの乗用車新車登録統計 2024年			
ブランド	1月		
	登録台数	シェア(%)	前年同月比 伸び率(%)
アルファ・ロメオ	629	0.3	46.3
アルピーヌ	43	0.0	38.7
アストンマーチン	25	0.0	-19.4
アウディ	15,439	7.2	4.6
ベントレー	63	0.0	-25.0
BMW	16,087	7.5	44.2
BYD	139	0.1	178.0
キャデラック	12	0.0	-72.1
シトロエン	4,439	2.1	95.6
ダチア	6,631	3.1	16.9
DS	220	0.1	178.5
フェラーリ	162	0.1	25.6
フィアット	4,500	2.1	13.4
フィスカー	29	0.0	X
フォード	7,378	3.5	-9.7
長城汽車(GWM)	90	0.0	4400.0
ホンダ	484	0.2	-3.8
現代自動車	6,501	3.0	7.0
イネオス	75	0.0	3650.0
イベコ	78	0.0	36.8
ジャガー	321	0.2	31.0
ジープ	1,147	0.5	73.8
起亜	4,838	2.3	53.8
ラーダ	2	0.0	-91.7
ランボルギーニ	117	0.1	82.8
ランチア	1	0.0	X
ランド・ローバー	1,038	0.5	-8.9
レクサス	379	0.2	180.7
ロータス	19	0	72.7
ルシード	2	0.0	-
リンク・アンド・コー(Lynk & Co)	5	0.0	-98.8
MAN	83	0.0	-32.5
マセラティ	41	0.0	-72.8
マクス(MAXUS)	6	0.0	500.0
マツダ	2,879	1.3	-13.5
メルセデス・ベンツ	21,323	10.0	-0.5
MG Roewe	896	0.4	85.5
MINI	2,158	1.0	35.4
三菱自動車	2,348	1.1	251.5
モーガン	5	0.0	66.7
蔚来汽車(NIO)	27	0.0	2600.0
日産	2,512	1.2	25.7
オベル	12,631	5.9	72.4
プジョー	4,886	2.3	78.4
ポールスター	110	0.1	-28.6
ボルシェ	3,798	1.8	24.2
ルノー	2,945	1.4	-17.4
ロールスロイス	28	0.0	154.5
セアト	10,070	4.7	80.2
シュコダ	16,686	7.8	21.3
スマート	1,180	0.6	62.5
双竜自動車(Ssangyong)	158	0.1	-19.0
スバル	394	0.2	66.9
スズキ	1,153	0.5	-36.3
テスラ	3,152	1.5	-25.7
トヨタ	6,703	3.1	2.5
ピンファスト	1	0.0	X
ボルボ	4,049	1.9	81.3
フォルクスワーゲン	41,548	19.5	12.1
その他	890	0.4	4.1
合計	213,553	100.0	19.1
出所:連邦陸運局			

<AI21696>

ドイツ国内生産、1月は4%減少

独自動車工業会（VDA）によると、同国の2024年1月の乗用車生産は31万2,100台となり、前年同月に比べ4%減少した。コロナ前の2019年1月と比べると16%下回っている。輸出は、前年同月比2%増の22万7,800台だった。2019年1月比では依然として21%下回っている。

VDAによると、1月の国内受注は、前年同月並み（±0%）にとどまった。これに対し、国外受注は前年同月を20%上回った。総合すると1月の受注は前年同月に比べ18%増加している。

ドイツ、生産・輸出台数：乗用車		
	2024年1月	前年同月比 伸び率(%)
生産台数	312,100	-4
輸出台数	227,800	2
出所：ドイツ自動車工業会（VDA）		

<AI21697>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます

企業情報

■自動車メーカー■

ダイムラー・トラックとリンデ、液体水素供給ステーション開設

ドイツの商用車大手のダイムラー・トラックと産業ガス大手のリンデは7日、同国のヴェルト・アム・ラインに液体水素供給ステーション（sLH2）を開設した。両社は、液体水素の新しい燃料補給技術「sLH2」（subcooled liquid hydrogen）を共同開発。同技術をトラックの一般的な燃料補給技術とすることを目指しており、国際標準「ISO 規格」を介して様々な企業などが同技術を広く活用できるようにする。

「sLH2」は、従来の液体水素（LH2）に比べ貯蔵密度が高く、燃料補給にかかる時間が短くなるほか、水素ステーションの建設・運用コストを大幅に削減できる利点もある。例えば、40トンの大型トラックに液体水素 80kg を充填する時間は約 10 ～ 15 分で、これにより、1,000km 以上を走行することができる。

ヴェルト・アム・ラインに開設したステーションの貯蔵容量は4トンで、これは連続10時間、燃料を供給できる量に相当する。途中で液体水素を補充すれば、1日あたり8トン以上の容量を確保することができる。

2024年半ばには、メルセデス・ベンツの燃料電池トラックのプロトタイプ「GenH2 Truck」5台を使用した顧客による実証試験が開始する予定。様々な業界の5社が特定のルートを走行する長距離輸送に使用する計画で、液体水素の充填は、ヴェルト・アム・ラインとデュースブルク圏の公共の液体水素供給ステーション（sLH2）で行う。

「GenH2 Truck」は総重量40トン（積載量：約25トン）で、2本の液体水素燃料タンク（ステンレスタンク、容量：各44kg）を搭載する。



出所：Daimler Truck

<AI21698>

独オペルの23年販売、15%増の67万台

欧州自動車大手ステランティス傘下の独オペルは1月30日、英姉妹ブランドのボクソールを含めた2023年の販売台数が67万台となり、前年比で15%増加したと発表した。これは過去20年間で最大の伸び率となる。国別の市場シェアは本国ドイツが5.3%で、英国とトルコも6%と高かった。欧州連合（EU）域外市場での販売台数は62%増の10万1,000台となり、全体の15%を占めた。

完全電気自動車（BEV）の販売は22%増の約9万台だった。小型商用車（LCV）も26%増の12万5,000台に拡大。そのうち、電動バンの「コンボ・エレクトリック」、「ヴィヴァロ・エレクトリック」、「モヴァノ・エレクトリック」の3車種は1万7,000台だった。

モデル別では昨年続き「コルサ」が最も多く売れ、ドイツと英国ではBセグメント市場で首位を確保した。ギリシャでは国内で最も売れたモデルとなった。Cセグメントの「アストラ」と「グランドランド」は約57%増と好調に推移した。

<AI21699>

ボルボ・カーの通期決算は増収増益、ポールスターへの資金援助は打ち切り

スウェーデン乗用車大手のボルボ・カーが1日発表した2023年通期決算の営業利益（EBIT）は256億クローナとなり、前年同期から43%増加した。完全電気自動車（BEV）の販売が好調で全体を押し上げた。売上高は21%増の3,993億クローナに拡大。売上高営業利益率は5.4%から6.4%に改善した。

10-12月期ではEBITが67億クローナとなり、前年同期から71.8%増加した。売上高は4%増の1,094億クローナ。売上高営業利益率は2.4ポイント増の6.1%に改善した。

通期の世界販売は前年比15%増の70万8,716台に拡大した。そのうちBEVモデルの販売が全体の16%を占め、前年同期から5ポイント増えた。販売台数は70%増の11万3,419台に急伸した。

ボルボ・カーは2030年までに純粋な電気自動車メーカーとなることを目指している。これに向け、BEVは現行の「C40」と「XC40」、「EX30」に加え、大型SUV「EX90」と中国市場モデル「EM90 MPV」をラインナップする。

ボルボ・カーはまた、親会社の中国浙江吉利控股集团（Geely）と設立した電動スポーツカーブランド、ポールスターへの資金支援を打ち切ると表明した。これにより吉利が同ブランドの筆頭株主になる可能性が高くなった。同ブランドは赤字続きで、米国や中国のEV人気低迷も重なり厳しい経営が続いている。

<AI21700>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています



東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう



仏ルノー「マスター」の EV モデル、クラス最高の航続距離とエネルギー効率を実現

仏自動車大手のルノーは1月31日、4代目となるパネルバン「マスター」の電動モデル「マスター E-Tech エレクトリック」が、クラス最高の航続距離とエネルギー効率を実現していると発表した。1回の充電で最大 460 キロメートル (km) を走行できるほか、エアロダイナミクスを追求した「エアロバン (Aerovan)」設計と、最新のマルチエネルギー・プラットフォームの導入により省エネ性能を高めている。同モデルの発売は今年春の予定している。

マスター E-Tech エレクトリックが搭載する電気モーターは出力 96 キロワット (kW) または 105kW、最大トルクはどちらも 300Nm。組み合わせるバッテリーの容量は前者が 40 キロワット時 (kWh)、後者は 87kWh で、最大航続距離 (WLTP) はそれぞれ 200km、460km となる。走行 100km あたりの消費電力は 87kWh バッテリーの場合、21kWh となっている。出力 130kW の DC 急速充電を使った場合、30 分で 252km の航続距離を確保できる。

小型商用車 (LCV) として初めて、モーターの回転エネルギーを電気エネルギーに変換して抵抗を得るダイナミック・ブレーキシステムを搭載する。同ブレーキの回生機能により、減速時に最大 95kW の電力を回収できる。

家電製品や電動自転車等への給電が可能なビークル・トゥ・ロード (V2L)、および EV と地域電力網の双方向充電機能ビークル・トゥ・グリッド (V2G) 技術を搭載する。

最大積載量は過去最高の 1,625 キログラム、牽引力は 2.5 トン。将来的には水素燃料電池モデルの投入も予定されている。

<AI21701>

ボルボ・カーの 1 月販売 10%増、17 カ月連続で増加

スウェーデンの乗用車大手、ボルボ・カーが5日に発表した2024年1月の世界販売は5万3,402台で、前年同月比で10%の増加となった。販売増加は17カ月連続。欧州と中国の好調が全体を押上げた。1月の販売台数を地域別に見ると、主力市場の欧州が8%増の2万3,141台となったほか、中国は36%増の1万6,042台と大きく伸びた。米国は横ばいの7,716台。その他の地域は15%減の6,503台に後退した。完全電気自動車 (BEV) やプラグインハイブリッド車 (PHV) など充電可能な車種の専門ブランド「リチャージ」は1月の世界販売の36%、欧州販売の60%を占めた。このうち BEV は世界販売の17%、欧州販売の32%を占めている。

リチャージブランドの1月の世界販売は3%減の1万9,171台と振るわなかった。地域別に見ると、欧州は8%増の2万3,141台と伸びたものの、中国 (21%減、989台)、米国 (21%減、1,875台)、その他の地域 (25%減、2,477台) は落ち込みが目立った。

同ブランドの BEV は17%増の9,226台に拡大した。欧州が40%増の7,471台と健闘し、中国 (50%減、161台)、米国 (66%減、260台)、その他の地域 (8%減、1,334台) の不振を補った。

1月の販売をモデル別に見ると、「XC60」(1万8,011台)、「XC40」(1万2,628台)、「XC90」(8,167台) の SUV 3 モデルが好調だった。

<AI21702>

■部品メーカー■

独ZF、米工場に5億ドル投資

独自動車部品大手のZFフリードリヒスハーフェンは6日、米サウスカロライナ州のグレイ・コート工場に5億米ドル（約4億6,000万ユーロ）を投資する計画を発表した。これにより、乗用車と商用車用の次世代駆動技術を生産できる体制を整える。今回の投資計画により、最大400人の雇用を創出することができる予定。

今回の投資により、グレイ・コート工場は、北米では同社にとって初めて、従来の内燃機関向けと電動車向けの駆動システムの両方を生産することができる工場となる。

また、プラグイン・ハイブリッド車（PHEV）にも対応可能な次世代（第4世代）の8速自動変速（AT）ギアの生産もできるようになる。PHEV用のギアは現在、ドイツで生産している。グレイ・コート工場では2025年から当該ギアの生産を開始する予定。

グレイ・コート工場は2013年に開設した。現在は、従業員約1,900人が勤務している。同工場では現在、第3世代8速ATギア、9速ATギア（以上、乗用車向け）や、中型トラック、バス、ピックアップ用のハイブリッド対応8速ATギア「パワー・ライン」などを生産している。

<AI21703>

独コンチネンタル、スリランカの特特殊タイヤ生産を強化

独自動車部品大手のコンチネンタルは1日、スリランカでの特殊タイヤ生産を強化すると発表した。マテリアル・ハンドリング事業を拡大して物流分野の需要を取り込む戦略の一環。1,300万ユーロを投じ、将来的にタイヤの一貫生産を行えるよう整備する。追加雇用は約200人。

同国南西部のカルタラ（Kalutara）にある工場では2009年から、フォークリフトやその他の運搬車両用のソリッドタイヤをオーダーメイドで生産している。タイヤの種類は主に、プレスオン式ソリッドタイヤと、超弾性ソリッドゴムタイヤ。製品は米国、アジア、一部の欧州市場に供給し、Continental、General Tire、Barumのブランド名で展開している。

コンチネンタルは特殊タイヤ事業で、農業、土木、港湾車両用をはじめ、資材運搬、自転車、オートバイ、レーシング用まで多様なラインナップを持つ。顧客の業務効率向上と運用コストの持続的な削減に寄与するデジタルタイヤ・ソリューションも提供している。

<AI21704>



TheBiPo

燃料電池の主要部品であるバイポーラプレート (BPP) の新しい生産方法に関するドイツの研究プロジェクト。燃料電池技術センター (ZBT) は、シュツットガルト大学樹脂技術研究所と協力し、グラファイトポリマー化合物を押し出し機によりフィルム状にした後、連続したプロセスとして、熱成形により BPP を製造する方法を研究している。当該生産方法により、大型で薄い BPP を経済的に製造することができると見込んでいる。

押し出しおよび熱成形の技術はそれぞれ、他の材料を使用した製品ですでに実用化されており、これを熱伝導性と導電性を持つ樹脂に応用する。

具体的には、幅広スロットダイと圧延機による加工により押し出し機からフィルム状になって出てきたグラファイトポリマー化合物を直接連続プロセスで熱成形により最終的な形状に仕上げる。

プロジェクトの最後には、新しい生産方法で製造した BPP を使った燃料電池スタックをテストし、特性を評価する計画。

プロジェクトの実施期間は 2023 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日まで。

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

欧州自動車短信

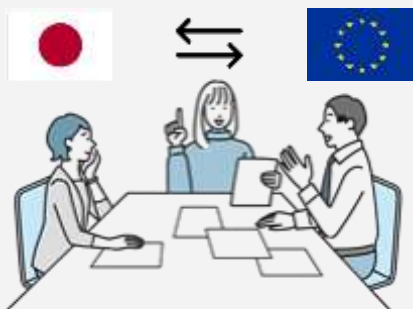
■ イスラエルのサイバーセキュリティ会社 **Argus Cyber Security** は 7 日、米電気自動車メーカーのフィスカーに複数の自動車サイバーセキュリティ製品・サービスを提供したと発表した。具体的には、フィスカーの SUV「オーシャン」の型式認証取得に必要な CAN ネットワーク用 IDPS（侵入検知・防御システム）製品などを供給した。自動車メーカーや電気自動車メーカーは、国連のサイバーセキュリティに関する国際基準「UN-R155」、国際標準規格「ISO / SAE 21434」、中国の国家標準規格「GB / T」などの自動車サイバーセキュリティ規制に準拠するため、サイバーセキュリティ機能を強化している。

■ 独商用車大手のダイムラー・トラックは 6 日、バス部門ダイムラー・バスズの充電インフラ子会社 **ダイムラー・バスズ・ソリューションズ** が、オランダのデンハーグの公共交通事業者 HTM Personenvervoer NV（以下、HTM）から大型受注を獲得したと発表した。HTM の車庫に充電ステーション計 41 基（充電口：計 122）を整備する。運営コンセプトやソフトウェア、充電管理システムも供給する。充電ステーションは 2024 年第 3 四半期に操業を開始する予定。ダイムラー・バスズは、HTM から受注したパッケージの一環として、メルセデスベンツの電気バス「e シタロ」を少なくとも 95 台、HTM に供給する。ダイムラー・バスズは 2023 年夏に 100% 子会社のダイムラー・バスズ・ソリューションズを設立した。



出所：Daimler Truck

<AI21605>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します

一般・その他

緊急時の重要物資確保策、加盟国と欧州議会が合意

欧州連合（EU）加盟国と欧州議会の代表は1日、公衆衛生上の危機などの緊急時に、EU域内で重要物資の供給が滞る事態を避けるため「単一市場緊急措置（Single Market Emergency Instrument = SMEI）」を導入する案で合意した。

EUでは新型コロナウイルス感染症の世界的流行に際し、当初はマスクや防護服、人工呼吸器などを加盟国がそれぞれ独自に確保しようとした結果、一部の国でこうした医療資源の調達が極めて困難になったほか、中国の「マスク外交」に押された経緯がある。ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー不足を経験したことも踏まえ、欧州委員会が2022年9月にSMEIを導入提案していた。

SMEIは加盟国による一方的な措置が危機を悪化させ、EU市民と企業に深刻な打撃を与えるとの反省から、緊急時に欧州委と加盟国が連携して対応できるよう、バランスのとれた危機管理の枠組みを確立するのが狙い。

同措置ではEUで発生しうるリスクを特定し、「不測」「警戒」「緊急」の3段階で欧州委と加盟国が取るべき対応を調整する。不測モードでは、危機の発生に備えて準備体制を強化。単一市場に対する脅威が確認された場合は欧州委が警戒モードを発動する。さらにEU全体に広範な影響を及ぼす危機の場合は緊急モードを発動し、欧州委と加盟国で構成する諮問委員会が状況を判断して最適な対応策を勧告する。

警戒モードでは、加盟国は欧州委と連携して戦略的に重要な物資およびサービスのサプライチェーンを監視するとともに、戦略的備蓄の積み増しを進める。緊急モードが発動された場合、欧州委は生産ラインの拡張を促したり、認可手続きを迅速化するなどして、供給不足に陥らないよう加盟国に勧告することができる。また、警戒段階で確保した戦略的備蓄を合理的な方法で配分するよう、加盟国に指示することもできる。

さらに緊急時における最終手段として、特別な状況下であることを条件に、欧州委は特定の企業に対し、供給網の再編や、特に戦略的に重要な物資の生産を優先したり、生産計画の変更を求めることができる。企業側は要請を拒否できるが、それを正当化するだけの理由を説明しなければならない。

<AI21706>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



EU がウクライナへの金融支援で合意、ハンガリーが反対撤回

欧州連合（EU）加盟国は1日に開いた臨時首脳会議で、ウクライナに2024年から4年間で総額500億ユーロの金融支援を行うことで合意した。ロシア寄りのハンガリーのオルバン首相が譲歩し、同問題が決着した。

金融支援はEUの中期予算から拠出される。170億ユーロが返済不要の補助金、330億ユーロが融資の形で提供される。

同支援はロシアとの戦闘が長期化し、疲弊しているウクライナ経済を下支えするのが目的。全加盟国の承認が必要だった。

EUは昨年12月の首脳会議での決定を目指していたが、オルバン首相が拒否権を発動し、合意に至らなかった。

オルバン首相はその後も支援に反対する姿勢を崩していなかったが、今回の首脳会議の直前にEUのミシェル大統領（欧州理事会常任議長）や独、仏、伊などの首脳が説得に当たり、同意を取り付けた。オルバン首相はEU内での孤立を回避するため、最終的に承認に回った。EUが支援について、必要に応じて2年ごとに見直す妥協案を提示したことも大きかった。EUはウクライナ支援で、かろうじて結束を保った格好だ。

同支援は欧州議会の承認を経て正式決定となる。第1弾となる45億ユーロの支援が3月に実施される見通しだ。

<AI21707>

EU がウクライナ産農産物の輸入制限へ、域内農家の不満に対応

欧州委員会は1月31日、欧州連合（EU）の農業政策に対する域内農家の不満が高まっていることを受けて、農家保護策を発表した。ウクライナ産農産物への関税、数量制限撤廃措置を延長する一方で、一部の産品の輸入を制限できるようにするのが柱。加盟国と欧州議会の承認を経て実施する。

EUでは農家に対する環境規制、ロシアの軍事侵攻を受けるウクライナへの支援策としてEUがウクライナからの輸入品への関税、数量制限を一時的に撤廃したことで安価な同国産の農産物が大量流入していることなどに農家が反発。フランス、ベルギーなどを中心に抗議デモが激化している。

欧州委が発表した措置は、こうした不満を解消するのが狙い。ウクライナ産農産物への関税、数量制限撤廃措置を1年延長し、2025年6月まで継続するが、鶏肉、卵、砂糖については輸入量が2022～23年の平均水準を上回った場合に緊急セーフガード措置を発動し、関税を課す。また、穀物など他の農産物に関しては、EU加盟国のうち1カ国以上で輸入が急増し、市場が混乱した場合に、欧州委が輸入制限措置を発動できるようにする。

このほか、批判の的となっているEU共通農業政策（CAP）に盛り込まれた規制措置の一部の適用を24年は停止することも提案した。生物多様性を保持するため、耕作地の4%を休耕地としなければ補助金交付を認めないルールを緩和する。

<AI21708>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

奥ベンテラーの自動運転ミニバス開発子会社、サウジ投資会社が出資

オーストリアの自動車部品大手ベンテラーは 7 日、自動車イニシアチブに特化したサウジアラビアの投資会社タサル・モビリティ・インベストメンツ（以下、TASARU）が、自動運転ミニバス「ホロン・ムーバー」を開発するベンテラーの子会社ホロン（HOLON）に出資すると発表した。

TASARU は、数億ユーロを投資してホロンの資本の最大 38%を取得する計画。分割して実施する計画で、最初の投資は差し当たり 4 月に予定している。同取引の実施には当局の認可が必要になる。

「ホロン・ムーバー」は、純電気駆動の自動運転ミニバスで、乗員数は最大 15 人、最高速度は時速 60 キロメートル。配車サービスなどのオンデマンドの移動需要のほか、定期運行バスとしても利用できる。

ホロンは、TASARU から得た資金を「ホロン・ムーバー」の量産化に向けた取り組みに投入する。世界市場で販売するため、欧州、米国、サウジアラビアに工場を設ける計画を打ち出している。今後に向けては、2024 年にプロトタイプを開発し、最初の試験走行を実施する計画。2025 年にはパイロットプロジェクトの枠組みで最初の走行を目指している。

「ホロン・ムーバー」のデザインは、イタリアの名門デザイン・開発会社のピニンファリーナが手掛けた。自動運転技術は米半導体大手インテル傘下のモービルアイ（本社：エルサレム、イスラエル）が開発している。



<AI21709>

出所：Benteler

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「クリッピング」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



ボルボ・カーズ、トルスラングにノベーション・センター建設

スウェーデン乗用車大手のボルボ・カーズは7日、イエーテボリ近郊のトルスラングにイノベーション・センター「モビリティ・イノベーション・デスティネーション・トルスラング」を建設すると発表した。2024年第2四半期に建設を開始し、最初の建物は2027年のボルボ・カーズの創業100周年に間に合うよう2026年までに完成させる予定。

当該センターの開設により、自動車のワイヤレス充電、車両と電力網の双方向充電、自動運転機能などの新技術を実験室で開発するだけでなく、都市のような環境で試験・検証・導入することができるようになる。

また、試験、エンジニアリング、材料開発の新しい建物や施設の建設に加え、イエーテボリにある同社のキャンパスを拡張し、新興企業や提携企業も入居できるようにする。

このノベーション・センターは、イニシアチブ「ヨーテボリ・グリーンシティゾーン」の拡大計画にも含まれている。当該ゾーンではヨーテボリ市がボルボ・カーズやその他の企業・研究機関と協力し、2030年までに排出ガスゼロの輸送を達成することを目的として、車両とインフラの両方の新技術を試験できるエリアを構築する。

<AI21710>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
Argus Cyber Security.....	19	Renault.....16
Benteler.....	22	Volvo Cars.....15,16,23
Continental.....	17	ZF Friedrichshafen17
Daimler Truck.....	14,19	
Opel.....	15	

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています

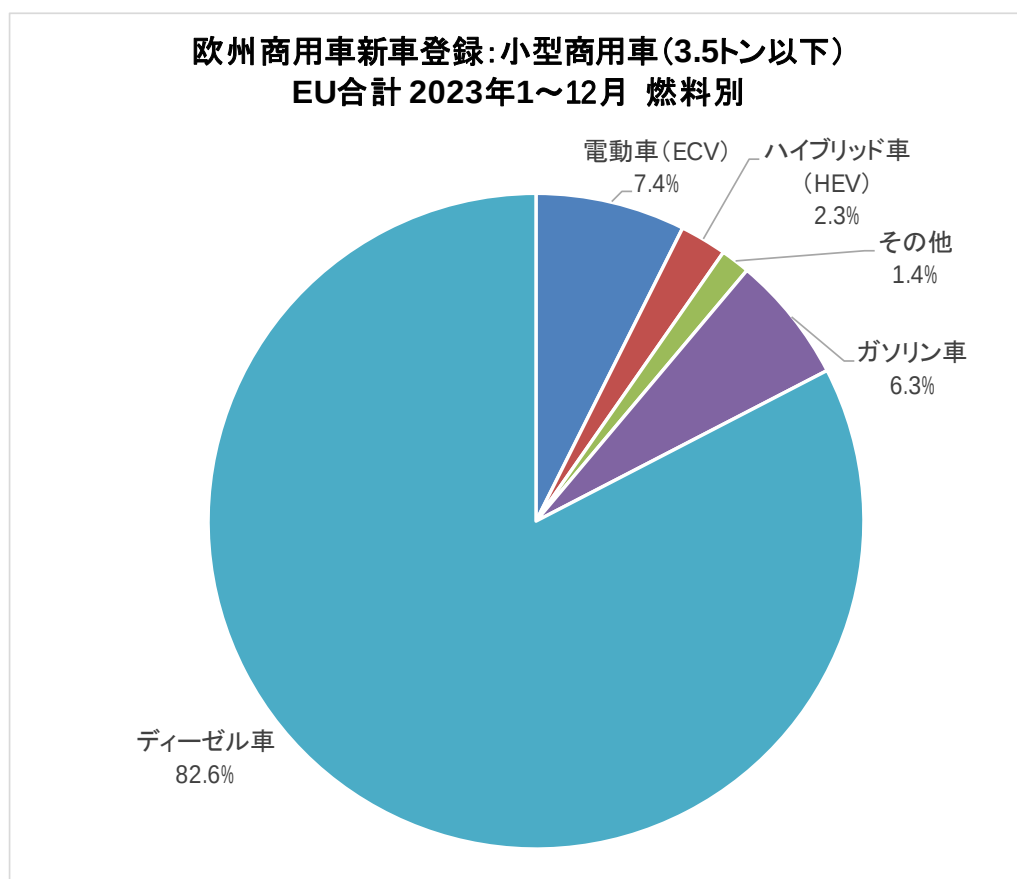


欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC

目で見える欧州自動車産業ニュース

EU 新車登録:商用車 2023 年 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA

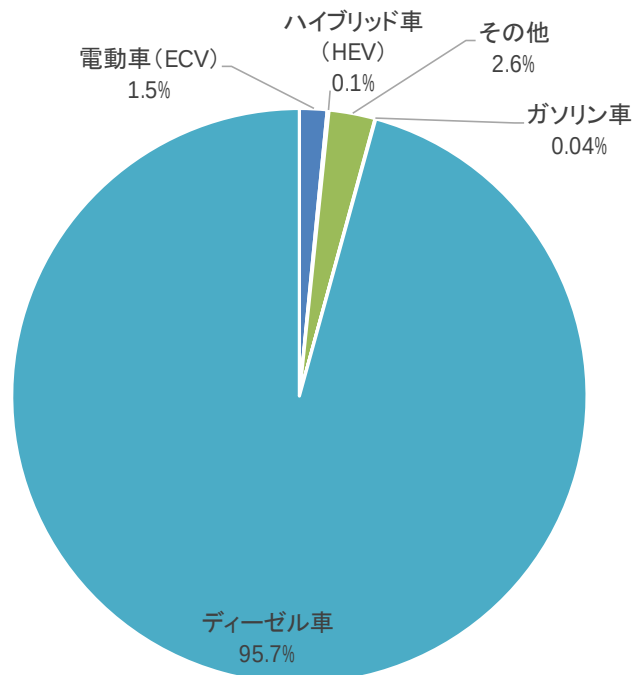


欧州自動車工業会(ACEA)によると、欧州連合(EU)におけるバン(小型商用車)の2023年通期の燃料別の新車登録台数は、ディーゼル車が前年比 10.4%増の 121 万 1,771 台と、前年を上回ったが、市場シェアは 82.6%(2022 年: 85.7%)に縮小した。電動車は前年比 56.8%増の 10 万 8,297 台となり、市場シェアを 7.4%(2022 年: 5.4%)に拡大した。

トラック(中・大型合計)は、ディーゼル車が全体の 95.7%(2022 年: 96.2%)を占めている。電動車の市場シェアは 1.5%(2022 年: 0.8%)となった。

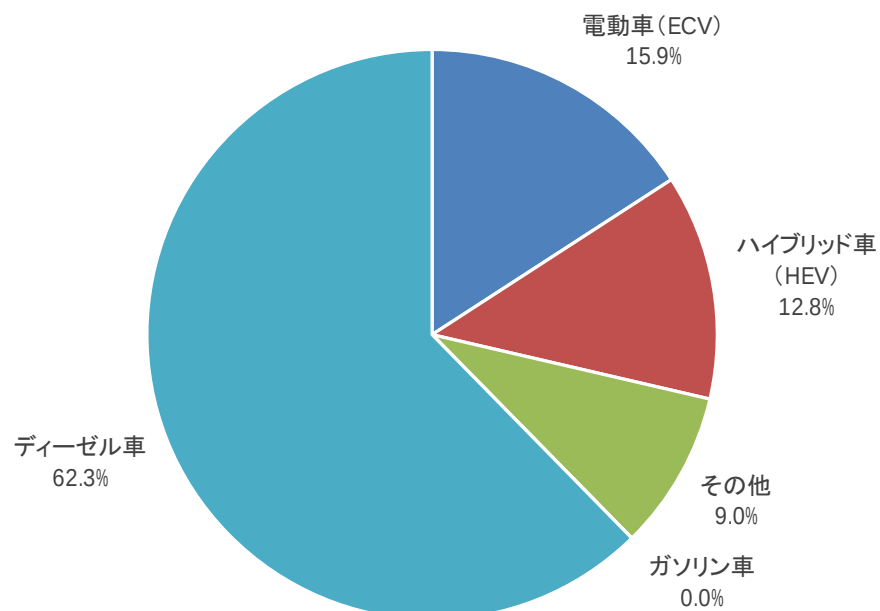
バスは、ディーゼル車の市場シェアが 62.3%(2022 年: 66.9%)だった。電動車は前年比 39.1%増の 5,166 台となり、市場シェアで 15.9%(2022 年: 13.6%)を確保した。ハイブリッド車(HEV)も前年比 115.1%増の 4,165 台と大幅に伸びており、市場シェアを 12.8%(2022 年: 7.1%)に拡大した。

欧州商用車新車登録:中・大型トラック EU合計 2023年1~12月 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA

欧州商用車新車登録:バス EU合計 2023年1~12月 燃料別



出所: 各国自工会; ACEA

<AI21711>